



あおば

更生保護だより

発行: 青葉保護司会
 青葉区更生保護女性会
事務局: 青葉区社会福祉協議会内
 〒225-0024
 青葉区市ヶ尾町1169-22
 TEL 045-972-8836
 FAX 045-972-7519
印刷所: (有) 青史堂印刷



青葉区長
小池 恭一

日頃から区政の推進に、多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、青葉保護司会及び青葉区更生保護女性会の皆様には、社会復帰への支援などを通じて犯罪や非行をした人の立ち直りにご尽力され、犯罪のない明るい社会づくりを目指した熱心な活動をしていただいております。心から敬意を表すると共に、感謝申し上げます。

皆様には、毎年「社会を明るくする運動」や「薬物乱用防止キャンペーン」区民まつり会場で「愛のバザー」を実

施するなど、精力的に活動していただいております。

私も、昨年4月に青葉区長に就任し1年が経ちました。この間、様々なイベントや活動に参加させていただき、区民の皆様とお話をし、地域の課題などを伺ってきました。皆様から寄せられたご意見等を区政運営に活かし、「住みつけたいまち青葉」の実現に向け、職員一同、皆様と共に全力で取り組んでまいります。

青葉区は、今年3月に第3期青葉区地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」を策定しました。その計画の中でも、子ども・青少年の健全育成を推進の視点として挙げております。「明るい社会づくり」の観点からも、青少年が地域に見守られながら健やかに成長できるよう、引き続きご協力お願いいたします。



青葉保護司会

会長 徳江 傳三

更生保護だよりの発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

私ども青葉保護司会は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援する活動と犯罪の予防を図るための啓発・宣伝活動を進めてまいりました。

今日の複雑化する社会の中で、犯罪のない明るい社会を作っていくことは、困難なことではありますが、この理想に向けて青葉保護司会は青葉区更生保護女性会の皆様と一緒に歩んでまいります。

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。



住居が必要

仕事が必要

地域との絆が必要



青葉区更生保護女性会

会長 飯塚 秀子

「更生保護」は、犯罪や非行をした人が地域社会で立ち直れるように支援をするとともに、犯罪や非行のない明るい社会を作るための国の事業です。

更生保護女性会は更生保護事業に進んで協力し、犯罪や非行のない明るい社会を実現しようとするボランティア団体で、昭和24年更生保護制度発足に伴い、日本全国各地に更生保護婦人会が組織され、その後更生保護女性会として活動しています。会の趣旨に賛同し更生保護ボランティアとして活動してみたいと思われる方は下記までご連絡下さい。

青葉区更生保護女性会（青葉区社会福祉協議会内事務局）

☎ 045-972-8836

更生保護女性会のキーワード

更生保護女性会の活動は、4つのキーワードにあわすことができます。

住んでいる地域を単位に、日本中で行われている活動です。市民・他団体と連携して、心豊かな社会を育てます。

女性の持つあたたかさ、細やかさを生かした活動です。

女性

地域性
(コミュニティ)

ボランティア

更生保護

心ならずも過ちを犯した人の立ち直りを支援し、犯罪の予防に努めます。

だれでも心の中にある善意をもって、自分なりの創意と工夫で活動します。

栃木刑務所施設研修

平成27年8月24日(月)

栃木刑務所へ研修に行きました。建て替えられた新刑務所には、現在 673 人の人達が寝起きをともし矯正指導やワークシートを実施し、社会復帰に向けた就労支援の強化に力を注いでいます。きれいに整理整頓された施設内を案内され、帰りには施設で作られた製品を購入して更生への道を応援しました。

更生保護女性会 石原 正子

栃木刑務所宿泊研修

全国に女子刑務所は 10 ヶ所あり、関東圏では栃木のみで、規模も最大です。女子刑務所はどの管区内で刑が確定したかで収監先が決まり、収容人数はどこも 110% 程度で定員越えの状況です。

栃木刑務所は、特に高齢者 (23.3%)・外国人 (22.9%, 35 ヶ国, 22 ヶ国語)・心身に障がいがある者等多様化しており、職員の負担率は 3.2 人と厳しい現状と言えます。

さて、刑務所には刑の執行の面と出所後を見据えて職業訓練や各種の教育の側面があります。一般には自己啓



発等、個別には薬物依存離脱・交通安全指導など、多岐にわたる教育・指導が行われています。一方、出所後の安定した生活基盤を作る為、ハローワーク等と連携し就労支援をしています。高齢者・障がいにより自立が困難な者には、福祉に繋げる等、個別対応が成されています。敷地内に美容院があり、美容科で国家資格を取得し、外部の方に提供しています。細やかな個別対応が印象的で、有意義な研修でした。

彼女達の立ち直りを信じ、みんなで犯罪のない明るい社会にしていきましょう！

保護司 曾山 美穂

横浜刑務所視察研修

平成27年9月10日(木)

青葉区更生保護女性会の視察研修が行われました。この刑務所の歴史は古く、1885 年伊豆下田港に下田奉行所管として開設された下田牢屋敷でした。この建物は 4 年前に改築されたもので、社会生活に適應するために必要な知識や生活態度を身につけさせることを目的とし、外国人も含む原則 26 歳以上の男子受刑者、1050 人を現在収容しています。各種製品の製作、加工や炊事などの作業を黙々と続けているところを視察しました。次に受刑者の部屋を視察しました。

受刑者が希望し、適正や刑期などの条件が整えば、公的資格、免許等の取得や技能修得が出来る職業訓練を受

けられるそうです。

出所者が社会復帰に向かってもその 4 割は身元引受人がなく受け皿が少ないため、再犯する人が少なくないとのことです。

受刑者が所内工場で制作した横浜細うどん他、種々の小物などを販売店で購入して帰途に着きました。

更生保護女性会 助川 昌子



を出店し、大変好評頂きました。

一人でも多くの方々に更生保護女性会の名前や活動内容を知って頂くように説明させていただき、共に楽しいひと時を過ごしました。特に小さいお子さんが笑顔で食べる姿は、この暗いニュースの多い昨今、この子供たちが大きくなるまで多少でも明るい世の中になって欲しいと願わずにはいられません。

更生保護女性会 海山 幸子

愛のバザー

平成27年11月3日(祝 火)

区民まつりが、青葉区役所で開催されました。

「青葉区民まつり」は、地域でのふれあいの広がりを生み出すことを第一の目的として開催されるものです。当日は好天に恵まれ開始前から大勢の人達で賑わいました。私たち更生保護女性会も、恒例の手作り「おしるこ」

第65回 青葉区 「社会を明るくする運動」実施報告について

ア ミニ集会

保護司、更生保護女性会、民生委員児童委員、自治会・町内会、PTA等が中心となって、町内会館、学校体育館等を利用し、計13回実施しました。非行防止、子育て、防犯、地域での声かけなど様々なテーマで懇談会や討論会を開催しました。

No	月 日	会 場	参加人数
1	6月 1日(金) 16:15～18:00	あざみ野中学校 図書室	60名
2	6月30日(火) 14:45～16:00	みたけ台中学校 体育館	142名
3	6月30日(火) 13:30～14:30	みたけ台中学校 コミュニティハウス	47名
4	7月 3日(金) 15:00～16:30	山内中学校 コミュニティハウス	60名
5	7月 3日(金) 15:00～17:00	あかね台中学校	141名
6	7月 4日(土) 10:00～13:00	しらとり台自治会館	50名
7	7月 6日(月) 15:00～16:15	青葉台中学校 3F教室	100名
8	7月 6日(月) 15:00～16:15	青葉台中学校 4F教室	100名
9	7月 6日(月) 15:45～16:45	もえぎ野中学校 体育館	139名
10	7月22日(火) 14:00～16:00	宿自治会館	57名
11	8月21日(金) 12:00～14:30	藤が丘地区センター	78名
12	9月25日(金) 14:45～15:30	桂小学校 体育館	90名
13	3月 2日(水) 8:55～ 9:45	青葉台中学校 体育館	182名
合 計			1,236名

イ 青葉区内の各駅での駅頭宣伝活動

青葉区更生保護女性会会員を中心に次の駅でキャンペーン活動を実施し、「社会を明るくする運動」標語入りのうちわ、ばんそうこう、リーフレット、ボールペン等を約1000セット配付しました。

実施駅・・・市が尾駅

実施日・・・7月16日(金)

ウ ポスターの掲出

区庁舎、ふれあい青葉、学校等に、「社会を明るくする運動」ポスターを掲出しました。

エ 第65回「社会を明るくする運動」作文コンテスト実施

神奈川県推進委員会が実施する第65回「社会を明るくする運動」について、区内小中学校へ参加を呼びかけました。(また、参加賞として 図書カードを青葉保護司会より寄贈しました。)

参加者 436名(中学校 5校 小学校15校)

青葉区更生保護女性会会員研修 平成28年1月22日(金)

講師として福田峰之先生をお招きしてマイナンバー制度について勉強しました。正式名称は「社会保障・税番号制度」と言い原則として生涯にわたって使用する番号です。 青葉区更生保護女性会 岡村 悦子

平成27年度

受賞おめでとうございます

青葉保護司会

全国保護司連盟理事長表彰

関東地方更生保護委員会委員長表彰

関東地方保護司連盟会長表彰

神奈川県知事感謝状

横浜保護観察所長表彰

横浜保護観察所長感謝状

民間篤志家

神奈川県保護司会連合会会長表彰

横浜市会議長感謝顕彰

横浜市保護司会協議会会長表彰

青葉区社会福祉協議会会長表彰

神奈川県更生保護協会会長表彰 更生保護協会理事

青葉区更生保護女性会

神奈川県更生保護女性連盟会長表彰

横浜市会議長感謝顕彰

横浜市更生保護女性連盟会長表彰

山 川 英 子

蒲 谷 政 茂

吉 村 実千代

菅 野 義 矩

高 橋 薫

倉 本 澄 夫

土志田 嘉

中 西 武 夫

沖 匡 子

金 子 拓 也

小 嶋 優

曾 山 美 穂

田 川 美知子

松 井 和 子

高 野 美智子

あざみ野第一小学校

荏田西小学校

すすき野小学校

すすき野中学校

蒲 谷 政 茂

吉 村 実千代

石 原 博

石 川 直 子

森 泰 子

小 野 淳 子

平成27年度 神奈川県更生保護女性連盟会研修について 平成28年1月14日(木)

横浜市開港記念会館で研修会が行われました。

はじめに、更生保護施設の10団体に愛の寄贈が行われ、続いて神奈川県6地区(横浜A、横浜B、川崎、県南、県央、県西ブロック)の研究発表がありました。

公演は横浜地方検察庁の齋藤雄彦様により「検察官の仕事を通じて巡り合った人々」というテーマで行われ、更生保護女性会の活動を地域住民に理解してもらい、自治会・町内会の協力が大事であるかなどを学びました。

更生保護女性会 小島満寿江

久里浜青少年院成人式 平成28年1月12日(火)

晴れた日には磯の香りを乗せて吹いてくる海の潮風、グラウンドや植木、花壇や空地は芝で整備され環境には素晴らしい所でした。新成人のご家族と地域の方々、保護司、更生保護女性会の大勢の方々が参列して、盛大に心温まる成人式が行われました。新成人は35名です。「試験を乗り越え強い志で歩いて行く、自分の責任を持って人生を送って行くよう」励ましの祝辞がありました。新成人が歌でのおかえしに『家族』をうたい、先生方から『栄光の架け橋』が歌われて新成人は全員が涙していました。輝く新成人たちよ！社会の荒波にもまれながら見失うことなく頑張ってくださいと思います。

更生保護女性会 小野 一江

平成27年7月16日(金)

社会を明るくする運動の街頭キャンペーン

今年度の街頭キャンペーン当日は、台風11号の接近により急遽開始時間を繰り上げて市ヶ尾駅のみでの実施となりました。

悪条件にも関わらず、区長さんをはじめ、連合町内会会長・警察署・保護司会・更生保護女性会・防犯協会など大勢の方にお集まりいただきました。駅を利用される方も片手に傘を持ちながらではありましたが、キャンペーン参加者の配布するリーフレット、うちわ、ボールペン等を気持よく受け取っていただきました。市ヶ尾駅ご

利用の皆様どうもありがとうございました。

保護司 小嶋 優



社会貢献活動が始まりました



平成27年6月から刑の一部執行猶予制度が施行されました。

社会貢献活動とは、保護観察中の人たちが地域社会に貢献する活動を通じて、立ち直ることを目的としていま

す。活動の内容は、公共の場所での清掃や福祉施設での介護補助など地域のニーズに応じて継続的に行います。人の役に立つ体験を通じて「自己有用感」や「規範意識」を得ることができます。社会のチカラが、その立ち直りに大きな役割を果たすことになります。どうぞご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

社会貢献活動青葉区担当保護司 曾山 美穂

子供達が あぶない 薬物乱用

青葉区民まつりが平成27年11月3日(火)に行われました。晴天に恵まれ、大勢の人々で賑わいました。私達神奈川県薬物乱用防止指導員協議会青葉区支部も青葉保護司会の応援を得て、リーフレット、風船、ばんそうこうを配布しながら、薬物乱用防止のキャンペーンを行いました。

さて、最近、子供たちの憧れの存在だった人が薬物使用で捕まりました。大人達もたくさん応援していたのに残念な事です。薬物使用は、人生を狂わせてしまう他、身体まで壊してしまいます。更に、去年は、小学校6年生の児童が大麻を吸引したり、高校生がライター用ガスボンベのガスを吸引して死亡する事故が起きています。県内の危険ドラッグの販売店舗はゼロになったところですが、医薬品を乱用目的で販売する事例が報告されるなど、危険ドラッグの代替薬物が若年層へ乱用拡大される事が、心配です。

これからも私達大人が、小学生、中学生にまで乱用防止をうたえていかなければならないのかと思うと、不安が尽きませんが、薬物の怖さを伝える活動を続けていきたいと思います。

青葉区支部長 吉村実千代

薬物乱用防止ポスターで 鈴木さんが市長賞

横浜若葉学園



喜びを語る鈴木さん



作品は「墮ちたら戻れぬ 絶望の深海」としたキャッチコピーで深海を描いた。

広報委員

青葉保護司会

高 橋 薫
吉 村 実千代
曾 山 美 穂
松 井 和 子

青葉区更生保護女性会

飯 塚 秀 子
岡 村 悦 子
土志田 花 子
森 泰 子
原 裕 子